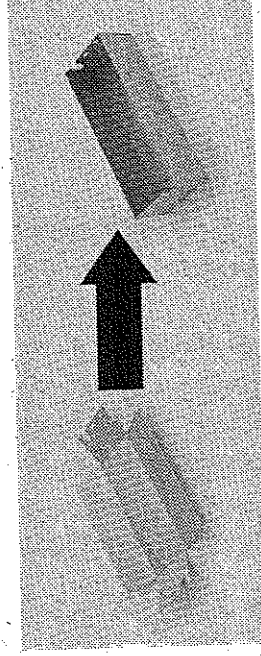


箱成形と防水処理

プレス1回で同時加工



日光金属工業

アルミケース製造で新技術

【神戸】日光金属工業（兵庫県姫路市、津田忠明社長、079・266・2236）は、プレス1回で箱成形と防水処理を同時加工できるアルミケース製造技術「リークゼロ工法」を開発した。プリント基板などを収めるケースとして、主に電源機器や電池メーカーへ販売を始めた。2011年度に1200万円、13年度に3600万円の売り上げを見込む。

リークゼロ工法はアルミ板の切断部がギザギザ形状の金型でプレス加工を組み合わせ、箱形状のアルミケースを成形する技術。厚さが1mmから1.5mmのアルミ板を金型で打ち抜き、切断線にギザギザを転写した展開図をつくる。

次に、展開図をプレスして箱形状に成形する際、同時に切断線周上の

「リークゼロ工法」では傷やヒビが生じないため、表面処理も不要

ギザギザをかみ合わせて接合も行つ。接合部はつぶれてすき間が埋まるので水漏れを防ぐといふ。従来はケースにプリント基板を入れて熱硬化性樹脂を注入する前に、高

粘性アクリル系樹脂を接合部のすき間に塗り、低粘性の熱硬化性樹脂が漏れるのを防いでいた。同工法では傷やヒビが生じないため、加工後の表面処理も不要。

絞り加工と比べてもトリミングなどの成形が不要で、短納期とコストダウンを図れる。

10年にアズタの「第3回優秀校舎製品技能フェア」で審査委員会特別賞を受賞した。その後顧客にサンプル品を出荷したところ、好評なため販売に踏み切った。

ケースの高さで85mmまで対応する。今後は高さや板厚の幅を広げるほか、鉄やステンレスへの応用も検討する。

NEOMAX
エンジニア

「5S」活動を刷新

教本輪読会で意欲醸成

【前橋】NEOMAXエンジニアリング（群馬県高崎市、植村典夫社

長、027・3886・7100）は、整理・整頓などを推進する「5S」

活動を刷新する。まず同活動に関する教本の輪読会を開いて5Sへの理解